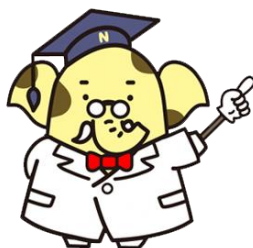


電気使用量に関する排出係数について



©新座市2010

温室効果ガスの排出量は、測定計器を使って
空中の温室効果ガスを直接測定するのではなく、
活動量（電気、ガス等の使用量）に、
排出係数をかけて求められています。

活動量



排出係数

活動量、排出係数とは何ですか？

- ・活動量とは、**事業者の活動の規模を数値化したもの**です。
たとえば、事業活動に利用した電気使用量や、自動車の走行に伴う燃料の使用量などがこれに該当します。
- ・排出係数とは、**活動量当たりどの程度の温室効果ガスが排出されるかを算定するために使用される指標**です。
事業活動から排出される温室効果ガスの排出量を可視化する際に使用されているものです。

電気使用量における排出係数は他と何が違うのですか？

各発生源別の温室効果ガスの排出量の算定における排出係数は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（以下、「法」という。）第3条に規定された排出係数を用いておりますが、電気の使用については、各電力会社の再生可能エネルギー電力の調達等の温室効果ガスの発生削減等を実施した実績を反映できるように、同条に基づき毎年告示される電気事業ごとの排出係数から「基礎排出係数」及び「調整後排出係数」の双方を用いて算定を行っています。

そのため、電気使用量は、他の発生源との相違点として、**排出係数が毎年告示される（他の発生源は法の改正に伴って排出係数が更新される）、契約する電気事業者によって排出係数が異なる**という特徴を持ちます。

基礎排出係数と調整後排出係数の違いを教えてください。

●基礎排出係数とは

「電気事業者が発電する際に排出した温室効果ガス排出量（以下「基礎排出量」という。）」を「電気事業者が1年で販売した全ての電気量」で割って算定する値です。

基礎排出係数は、電力会社の一般的な排出水準を示すための指標です。再生可能エネルギーの活用等による削減等は反映されておりません。

基礎排出係数の算出方法

$$\text{基礎排出係数} = \frac{\text{基礎排出量 (kg-CO2)}}{\text{電気事業者が1年で販売した全ての電気量 (kwh)}}$$

●調整後排出係数とは

「調整後排出量(※1)」を「電気事業者が1年で販売した全ての電気量」で割って算定する値です。

調整後排出係数は、再生可能エネルギーの利用や排出量削減策の導入などにより削減された排出量を加味し正確な排出量を反映するために使用される指標です。

調整後排出係数の算出方法

$$\text{調整後排出係数} = \frac{\text{調整後排出量 (kg-CO2)}}{\text{電気事業者が1年で販売した全ての電気量 (kwh)}}$$

- ※1 基礎排出量に、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT 制度)に関連した排出量を合算します(※2)。次にこの値から非化石証書の調達(※3)やJ-クレジット制度(※4)によってカーボンオフセット(※5)した排出量を差し引いたものです。
- ※2 FIT 制度対象の電気は、電気利用者が公平に負担する再エネ賦課金によって成り立っている電気であるため、制度上、「CO2 を排出しない」という環境価値を持っていないと定義されています。
- ※3 非化石電源で発電された電力が持つ「CO2 を排出しない」という環境価値の部分を分離して取引ができるように証書化したものです。
- ※4 省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による CO2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO2 等の吸収量をクレジットとして国が認証する制度のことです。このクレジットを購入することで CO2 削減・吸収量の埋め合わせができます。
- ※5 日常生活や経済活動において避けることができない CO2 等の温室効果ガスの排出について、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。